

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等の対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

# 貯砂ダム築造により、貯水池への土砂流入を低減する (埼玉県飯能市)

事業者：埼玉県

対策前



有間ダム



対策後



貯砂ダム

## 対策名：80-2 ダム管理施設の堆砂対策

主たる施策グループ：1-4) 突発的又は広域的な洪水・高潮に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生（ため池の損壊によるものや、防災インフラの損壊・機能不全等による洪水・高潮等に対する脆弱な防災能力の長期化に伴うものを含む）



## 事業名：有間ダム 防災・安全交付金事業

- ポイント
- ダム貯水池上流に貯砂ダムを築造
  - 堆砂の進行を抑制することが可能になり、ダムの洪水調節機能を維持することで、ダム下流河川の氾濫被害を減少

### 地域の概要・課題

有間ダムは、都市化により人家が密集し、出水のたびに災害に見舞われていた入間川下流流域の根本的対策として、入間川総合開発事業の一環として建設されたダムであり、1986（昭和61）年3月に完成しました。

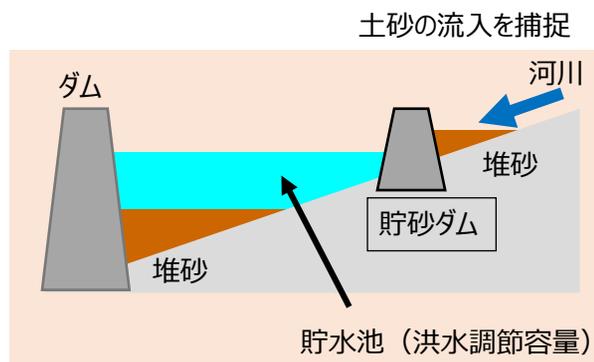
ダムでは貯水池へ流入する土砂を貯めるための堆砂容量を確保していますが、計画時の年推定堆砂量を超える土砂が流入する状況となっており、ダムの洪水調節機能を維持できなくなる恐れがありました。

### 事業の概要

有間ダムではダム貯水池への流入する土砂を低減するために、貯水池上流部に土砂を捕捉するための貯砂ダム（捕捉量17,000m<sup>3</sup>）を築造しました。

### 見込まれる効果

ダム本体の貯水池上流域に貯砂ダムを整備したことにより、堆砂の進行を抑制することが可能となり、ダムの洪水調節機能を維持することで、ダム下流河川の氾濫被害を減少することができます。



貯砂ダムによる効果イメージ図

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積